

令和5年度 リハーサル模試【令和6年1月実施】

〈共通科目〉訂正一覧

令和5年度リハーサル模試に、一部誤記がございました。お詫びして訂正いたします。

【共通科目】

「社会理論と社会システム」解答・解説 問題15 選択肢5

誤： 適切である 予期的社会化は、現在自分が所属していないが、将来的に参加が見込まれると予想されている集団を準拠集団として行われる。例えば、これから入学したり、入社したりする学校や企業のルールや価値観をあらかじめ学習し身につける、といったことは予期的社会化にあたる。

正： 適切でない 予期的社会化は、現在自分が所属していないが、将来的に参加が見込まれると予想されている集団を準拠集団として行われる。例えば、これから入学したり、入社したりする学校や企業のルールや価値観をあらかじめ学習し身につける、といったことは予期的社会化にあたる。

令和6年1月9日付

令和5年度 リハーサル模試【令和6年1月実施】

〈社会福祉士 専門科目〉訂正一覧

令和5年度リハーサル模試に、一部誤記がございました。お詫びして訂正いたします。

【専門科目】

「相談援助の理論と方法」解答・解説 問題106 正答、選択肢2および選択肢4

誤：正答 2

誤：2 適切である H社会福祉士のみでGさんへの支援を実施するのではなく、住民や関連する専門職と協働で、Gさんの地域における生活を支援することが、重要となる。地域を基盤とした、見守り活動等のネットワークを活用した支援が求められている。

誤：4 適切でない Gさんは、適切な判断をすることが難しい状態にあると考えられるため、具体的な支援を何も実施せず、関係を構築しないままで、またそれらの検討も行わないことは適切ではない。

正：正答 4

正：2 適切でない Gさんは、適切な判断をすることが難しい状態にあると考えられるため、具体的な支援を何も実施せず、関係を構築しないままで、またそれらの検討も行わないことは適切ではない。

正：4 適切である H社会福祉士のみでGさんへの支援を実施するのではなく、住民や関連する専門職と協働で、Gさんの地域における生活を支援することが、重要となる。地域を基盤とした、見守り活動等のネットワークを活用した支援が求められている。

追補：選択肢4を正答といたします。

令和6年1月9日付

令和5年度 リハーサル模試【令和6年1月実施】

〈精神保健福祉士 専門科目〉訂正一覧

令和5年度リハーサル模試に、一部誤記がございました。お詫びして訂正いたします。

【専門科目】

「精神保健福祉に関する制度とサービス」設問および解答・解説 問題 68 選択肢 2

設問

誤： 地域生活定着支援センターは、高齢または障害などにより支援を必要とする矯正施設を出所した者に対して、保護観察所や関連機関と協働してコーディネート業務やフォローアップ業務、相談支援業務を行う機関である。

正： 地域生活定着支援センターは、高齢または障害などにより支援を必要とする矯正施設を出所する者に対して、保護観察所や関連機関と協働してコーディネート業務やフォローアップ業務、相談支援業務を行う機関である。

解答・解説

誤： 正しい 選択肢のとおり、地域定着生活支援センターは、高齢または障害などにより支援を必要とする矯正施設を出所した者に対して、保護観察所や関連機関と協働してコーディネート業務やフォローアップ業務、相談支援業務を行う機関である。

正： 正しい 選択肢のとおり、地域定着生活支援センターは、高齢または障害などにより支援を必要とする矯正施設を出所する者に対して、入所中から出所後まで一貫して保護観察所や関連機関と協働してコーディネート業務やフォローアップ業務、相談支援業務を行う機関である。

追補：正しい選択肢が存在しないため、問題 68 については、全員正解といたします。

令和6年1月9日付